

平成19年3月期 会社説明資料

平成19年7月

南総通運株式会社

(ジャスダック・9034)

平成19年6月現在

商号 南総通運株式会社

本社 千葉県東金市東金582番地

代表者 中村 隆則

設立 昭和17年11月10日

資本金 53,850万円

売上高 13,778百万円

従業員 325人

昭和17年11月	資本金350千円をもって千葉県山武郡東金町東金586番地に南総通運株式会社を設立
昭和18年 1月	区域貨物自動車運送事業開始
昭和30年 7月	千葉県東金市東金587番地の6に本社移転
昭和36年12月	倉庫業許可書を取得し茂原市・東金市にて営業開始
昭和47年12月	関係会社南総タクシー株式会社(現連結子会社)を設立
昭和49年 1月	関係会社南総総業株式会社(現連結子会社)を設立
昭和54年10月	関係会社南総建設株式会社(現連結子会社)を設立
昭和57年 3月	関係会社南総電子工業株式会社(現連結子会社)を設立
昭和62年 3月	千葉新港通運株式会社(現連結子会社)の経営権取得
平成 9年10月	千葉県東金市東金582番地に本社移転
平成10年 3月	株式追加取得により南総総業株式会社・南総建設株式会社・南総電子工業株式会社・千葉新港通運株式会社を100%出資子会社、南総タクシー株式会社を99.9%出資子会社とする
平成10年12月	宅地建物取引業免許を取得し不動産事業を開始
平成13年 3月	店頭登録銘柄として日本証券業協会に登録
平成15年 8月	関係会社JFロジスティクス株式会社(現連結子会社)を設立
平成16年 5月	ISO9001・ISO14001同時取得
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消しジャスダック証券取引所に株式を上場

当社のグループは、南総通運株式会社（当社）並びに子会社の南総総業株式会社、南総電子工業株式会社、千葉新港通運株式会社、南総建設株式会社、南総タクシー株式会社、九十九里タクシー株式会社及びJFロジスティクス株式会社の8社で構成されており、物流事業を主な事業の内容とし、その他に建設事業、不動産事業、その他事業（旅客自動車運送事業及び保険代理店業）を行っております。

平成19年3月期 決算概要

南総通運株式会社

当連結会計年度のわが国の経済は、企業収益が好調に推移したことで設備投資の増加や雇用環境の回復が見られ、個人消費の弱さが見られるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし一方では、原油価格は依然として高止まりしており、未だ景気の不透明感はぬぐいきれない状況であります。物流業界におきましては、米国、中国等の景気の好調に支えられ、国際貨物輸送量は堅調に推移したものの、国内貨物輸送量は低調な動きでありました。また、原油価格の高止まりによる輸送コスト増、企業間競争やお客様のコスト削減による低運賃・低価格化等もあり、引続き厳しい環境でありました。このような経営環境の下で当社グループは、お客様のニーズに対応した物流サービスの提供により既存顧客との取引拡大と新規顧客の開拓を積極的に推進するとともに、コスト削減のため輸送の効率化と経費節減にも積極的に取り組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の営業収入は137億7千8百万円と前期比7億4千1百万円(5.1%)の減収となり、経常利益は12億3百万円と前期比4千2百万円(3.4%)の減益となり、当期純利益は、前期減損損失が計上されましたが当期にその計上がなく、5億2千6百万円と前期比1億4千2百万円(36.9%)の増益となりました。

損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	平成18年3月期	平成19年3月期	前期比	備考
営業収益	14,519	13,778	△ 5.1%	
営業支出	12,437	11,795	△ 5.2%	
販売費及び一般管理費	657	709	7.9%	
営業利益	1,424	1,273	△ 10.6%	
営業外収益	49	184	270.1%	
営業外費用	228	254	11.3%	
経常利益	1,246	1,203	△ 3.4%	
特別利益	2	23	805.9%	
特別損失	591	219	△ 62.9%	前期減損損失533百万円計上
当期純利益	384	526	36.9%	

貸借対照表（連結）

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減	備考
（単位：百万円）				
流動資産	4,677	4,386	△ 291	現預金、受取手形及び営業未収金減少
固定資産	22,035	22,941	906	不動産賃貸物件及び倉庫建設等による有形固定資産増加、繰延税金資産増加
資産合計	26,712	27,327	615	
流動負債	7,859	7,431	△ 428	支払手形及び営業未払金減少
固定負債	8,958	9,562	604	不動産賃貸契約による預り保証金増加
負債合計	16,818	16,994	175	
少数株主持分	1	—		
資本金	538	—		
資本剰余金	497	—		
利益剰余金	8,776	—		
その他有価証券評価差額金	82	—		
自己株式	△ 2	—		
資本合計	9,892	—		
資本金	—	538		
資本剰余金	—	497		
利益剰余金	—	9,222		
自己株式	—	△ 5		
株主資本合計	—	10,252		
評価・換算差額等	—	78		
少数株主持分	—	1		
純資産合計	—	10,333		

当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する金額は10,331百万円であります。

なお、連結財務諸表規則の改正により、当連結会計年度における連結財務諸表は、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位：百万円)	平成18年3月期	平成19年3月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	1,547	1,683	136	不動産賃貸契約による預り 保証金増加等
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,549	△ 1,660	△ 110	不動産賃貸物件及び倉庫建 設等による支出増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 134	△ 101	32	当連結会計年度中に完済の 長期借入金があった
現金及び現金同等物の 増加額	△ 136	△ 79	57	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,840	1,704	△ 136	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,704	1,625	△ 79	

セグメント別営業収入

(単位：百万円)

セグメント	平成18年3月期	平成19年3月期	比較増減
	売上高	売上高	金額
物流事業	13,036	12,322	△ 714
建設事業	1,682	1,039	△ 643
不動産事業	592	652	59
その他事業	475	462	△ 12
消去又は全社	△ 1,267	△ 698	569
合計	14,519	13,778	△ 741

平成20年3月期 決算予想

南総通運株式会社

平成20年3月期 業績予想（連結）

（単位：百万円）	平成19年3月期	平成20年3月期予想	増減
営業収入	13,778	14,009	1.7%
営業利益	1,273	1,460	14.7%
経常利益	1,203	1,257	4.5%
当期純利益	526	713	35.5%
EPS（円）	105.42	142.91	
ROE	5.2%		

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝自己資本利益率

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

経営方針

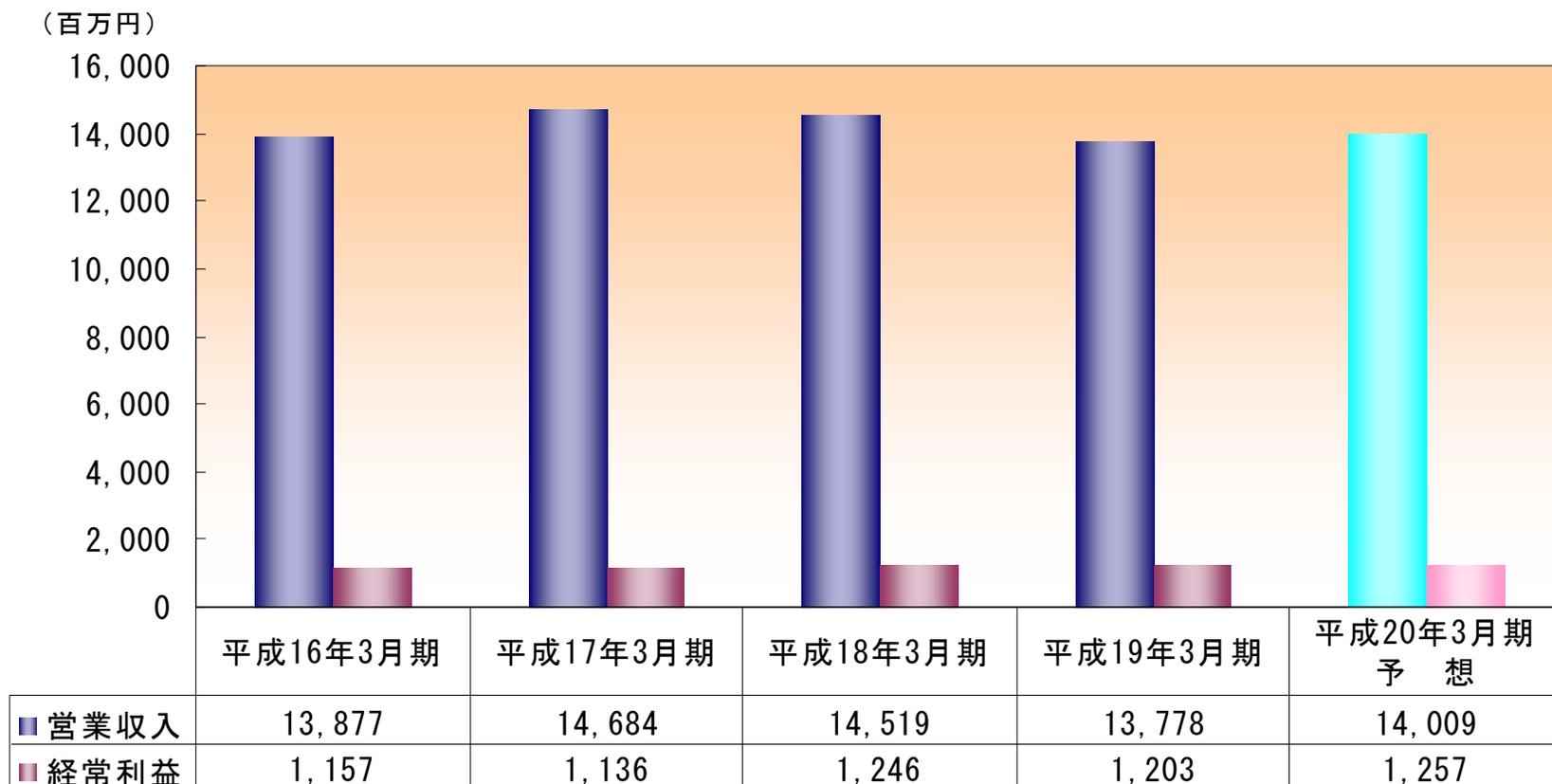
当社グループは、物流サービスを提供することにより、地域社会の経済の発展と生活向上に寄与し、公共的な事業を営む企業として環境問題を始めとする社会問題等に責任を果たし、株主、お客様に貢献し、信頼される総合物流企業をつくりあげることが経営方針にしております。

その実現のために「お客様第一主義」をモットーとし、お客様に品質の高い物流サービスの提案、提供に努め、財務体質及び営業力を強化し、収益力のある安定した企業経営に推進してまいります。

今期の取り組み

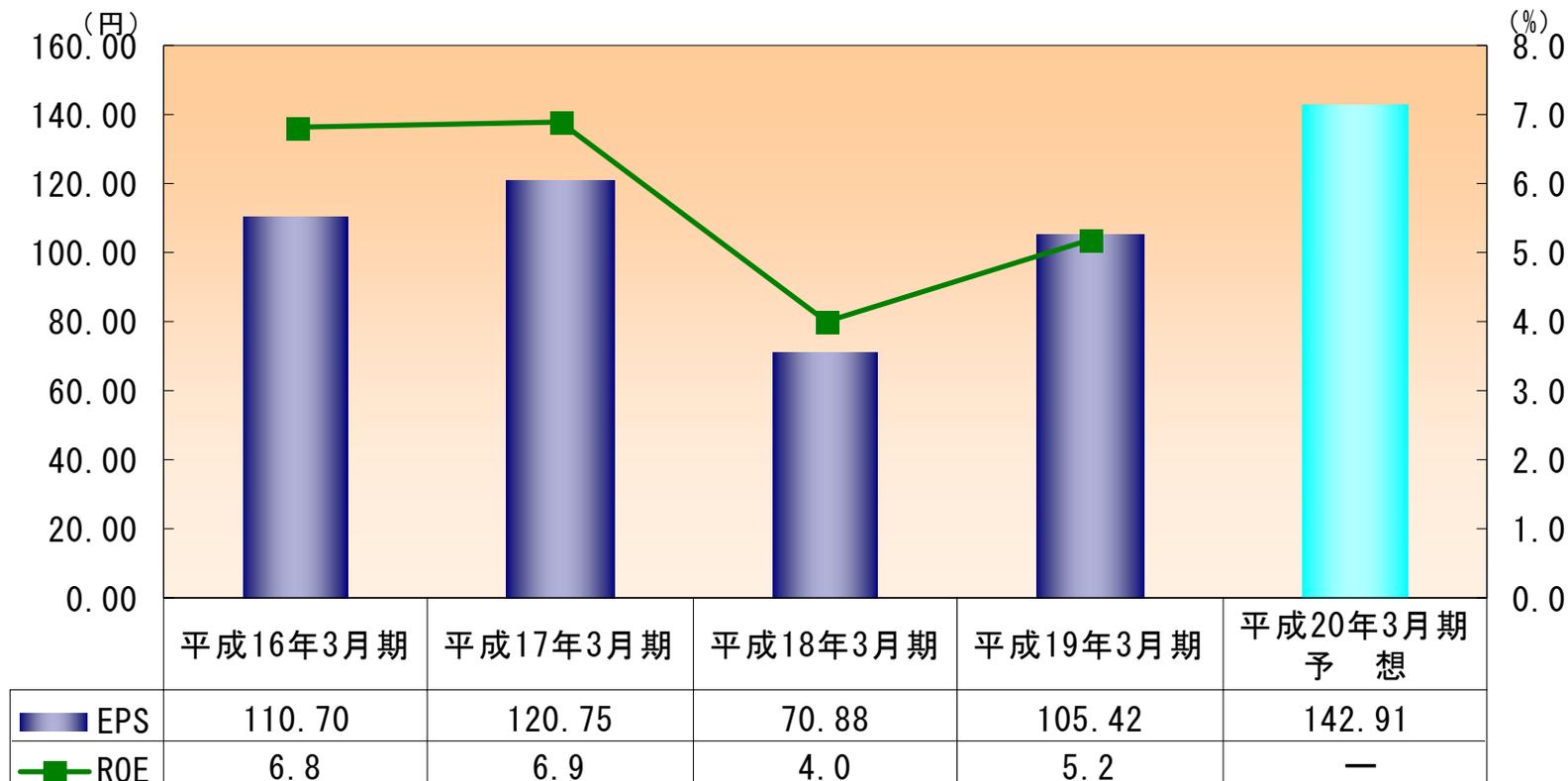
- ① 「事故防止」「安全・安心」「環境の整備」の推進
- ② 営業強化、拡大、合理化の推進
- ③ 人材の育成

営業収入・経常利益の推移（連結）



上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移（連結）



EPS=1株当たり当期純利益

ROE=自己資本利益率

上記の予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



南総通運株式会社

管理部総務課

TEL : 0475-54-3581

E-mail : customer@nanso.co.jp